



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2014-2015 年度 No.20

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F  
ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334,

[inashorc@athena.ocn.ne.jp](mailto:inashorc@athena.ocn.ne.jp)

2014-2015 年度 会長 坂井彦就、幹事 岩崎 修

2014-2015 年度 RI テーマ



Light Up Rotary

「ロータリーに輝きを」

(ゲイリーC.K.ホアン会長)

例 会 記 録「ロータリーデー」



第 1 7 4 6 回例会「ロータリーデー」

平成 26 年 11 月 19 日(水)PM5 : 00～

鳥越の宿 三楽園

(第一部) 会場：1F「芙蓉」 司会：岩崎幹事



・開会点鐘 坂井会長

- ・国歌斉唱『君が代』
- ・ロータリーソング『奉仕の理想』



・会長挨拶：今日は第1回の東となみRCのロータリーデーにお越しいただき有難うございます。また、2610地区で私たちが最も尊敬する津田パストガバナーにもご出席いただき、後程講演をお願いしております。よろしく願い致します。今日はゲストの方たくさんおいで頂いています。ありがとうございます。最初は大変心配していましたが、会員の努力もあり12名のゲストの皆さんをお迎えすることができました。そして、本日入会される方がいらっしやいます。後程紹介をいたします。ロータリーを一言で言えば、世界平和を目的とした世界の奉仕団体である。ということが言えると思います。後程の津田パストガバナーからもっと深いお話があると思います。ちなみに会員数などの概要をお知らせしておきます。現在200か国以上で約34,000クラブ、約120万人の会員がおります。日本では34地区があり、我がクラブは富山県・石川県で構成しています2610地区であります。日本においては、2,286クラブ、約9万人の会員であります。2,610地区においては、66クラブで約2,600人の会員数であります。このような規模で奉仕活動を行っています。ロータリーには5大奉仕があり、国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕そしてクラブ奉仕活動であります。活動内容は、国際奉仕では、ポリオの撲滅運動、留学生の支援を目的とした奨学会制度など、社会奉仕では、ゴミ0運動、むし歯予防キャンペーン、植樹など、職業奉仕では、自分の職業を通じて社会に奉仕するなど、青少年奉仕では、剣道大会の支援などであります。ロータリーデーは今回初めて行いますが、目的として、1つは、ロータリーについて現会員がもう一度学ぼう、2つ目は、本年度のテーマであります「相互協力と打ち解けた親睦」であり、3番目は、地域社会の方々に（本日のゲストの方）ロータリーを理解してもらう日であり、4番目として、今日

の津田パストガバナーのお話しを含めて、来週みんなでグループディスカッションをして東となみRCのビジョンを考える機会にしたいということが目的であります。それではこれから講演会そして親睦会に移りたいと思います。

・ゲスト紹介(岩崎幹事)：9名の会員が招待した12名が紹介された。

・講師紹介(坂井会長)：本日の講師は、パストガバナーの津田達雄様です。昭和7年4月30日生れの82歳で、ロータリーへの入会は1975年9月29日でありロータリー歴39年、職業分類は産婦人科医であります。2610地区の主なロータリー歴は、2002-2003年度、ガバナー。2013-2014年度、諮問委員会委員、米山記念奨学会理事。2014-2015年度は、諮問委員会委員、米山記念奨学会理事、米山記念奨学生選考面接官を務めておられます。それではよろしくお願い致します。



・講演「ロータリーで学んだこと」

津田達雄パストガバナー

こんばんは、病院を経営しています。今日はロータリーデーに呼んでいただき少しビビっています。皆さんも社訓をお持ちだと思いますが精神が大事であります。ロータリーにもそのようなものがあります。私どもの病院も理念があり一週間に1回は唱和しています。

ロータリークラブを最初につくられた方は、ポールハリスです。家庭的には恵まれなかったが、弁護士の資格を取られた。そして田舎からシカゴの町に出て行ったが暗い時代であり、まともな商売は無かったようです。まともな町にしようとして5人の同志が集って1905年に設立された。今年で110年程になります。最初に行った活動は、公衆便所を建てるというものでした。気の合った5人がまともな商売をして徐々に活動が広がり、世界中に広がっていった。100年ほど経った20年程前から出席率が悪い、会

員が減少するというような傾向になり評判が悪くなってきた。ロータリーに人気が無くなってきた。タイ国の副首相であるビチャイラタクル氏が2002-2003年度の国際ロータリーの会長である時に私はガバナーをしましたが、世界のおよそ500地区、1000人くらいの方がアメリカのホテルで缶詰めになり1週間程の研修を受けました。そこで話されたことに、「基本になっているものがはずれてきている。」「社会の考え方が変わってきている。」「100年前の原点に戻らなければならないという投げかけがありました。



ロータリークラブは慈善団体ではない、援助団体でもなく金集め団体でもありません。ポールハリスはロータリーの心とは、友情を大切にすることである。どうして作ったか問われた時、「友達が欲しかった」と書いている。ロータリーは温かい友情が基本であります。友情以外にロータリーに必要なものは、寛容の精神と職業奉仕が大切なものであると言っている。道徳から外れることに対してはロータリーは真っ向から反対します。人間は集団で動く、その中で人のために役立つことをするという気持ちが湧いてくれば、寛容、サービスの精神につながってきます。ボストン大会で演説の最後に、「ロータリーに愛がなければならぬ」ベースには人に対する愛というものがああります。ビチャイラタクル会長のテーマは、「慈愛の種を播きましよう」 Sow the Seeds of Loveでしたが、仏教徒だから出てきた言葉ではないでしょうか。当時の日本の34地区のガバナーが会を作り、タイ国を訪問したり、津波の被害に義捐金を贈ったり今でも活動を続けています。

ロータリーの最初は1業種1人でしたが、最近はずが広がり1業種5人程度で、全体では10%くらいまで同業種でも良いとされています。私も医師会しか付き合いませんでしたが、RCに入ると地域の人、いろんな方と付き合うことができます。職業奉仕ですが、皆さんは天職と受け止めて世の中のために役立っている。そのことが喜びにつながっています。職業奉仕という言葉は難しい言

葉ですが、4つのテストがあります。①真実かどうか②みんなに公平か③好意と友情を深めるか④みんなのためになるかどうか。ロータリアンは、それに照らし合わせて仕事をする。騙していませんか、儲けは山分け、ぼったくりでないですか。余裕があればRCに寄付してください、であります。

また、米山記念奨学会があります。日本のロータリーの最初の会長さんの名前をとったもので、外国の留学生に奨学金を贈り学んでもらう。返さなくてもいい奨学金であります。日本で勉強し祖国に帰り日本との橋渡しをしてもらう。今まで1万6千人くらいの大学生に渡しています。現在、年間700人くらい、県内では20人ほどが奨学金を受けています。ロータリー財団は60年くらいの歴史があり、免税などの恩恵もあります。半分以上が中国からの留学生のため、片寄りし過ぎでないかという声もあるが、中国の学生は優秀であります。世界第二の経済大国である中国でなく、もっと日本の学生に回せと言うような声もあります。日本だけの事業であり民間で一番大きな奨学会であります。奨学生にはカウンセラーが付き安全を確保して授業を受けてもらっています。卒業生のOBが同窓会を作ってくれており、ロータリーの大きな事業の1つであります。

RCのほかにLC(ライオンズクラブ)があります。RCで生まれて20年後くらいに行動派が分かれて誕生したものであり、LCは派手で、RCは地味といわれていますが、大きな仕事をしています。ロータリーの心みたいなものをゲストの方に耳に入れていただければありがたい。毎週の例会はきついかも知れないが、友達ができます。ゲストの方も是非RCを見ていただきたいと思います。ホテルなどでバッジを見ると声を掛けあう。そういう気持ちになってもらえればありがたいです。



(発言)山本武夫会員： これからほかに出かけますのでお話をさせていただきます。私は津田先生のご紹介でRCに

入会させていただきました。先ほども言われましたが歯科医師会は世間が狭いので、最初に言葉をかけていただいたのは、「友達をつくりませんか」でありました。やっぱり同じ職業のグループと違う人にお会いできて、いろんな方とお話ができる。非常にRCに入って楽しかったです。入会すると「四つのテスト」という額がいただけますが、自分の職業を通して何ができるのか、自分は今までむし歯予防の仕事をやってきました。例えばフッ素を使って予防するという仕事は、四つのテストの考えにぴったりです。分かりやすく言えば誰でも自然にむし歯予防の方法があればいいのです。実は明日からオーストラリアに行きますが、そこでは水道水フッロリデーションというフッ素で濃度調整をしてむし歯予防をしており、その見学に行ってきます。ロータリーに入ってそういうことを広めて行けたらいいなと思いました。日本はまだまだそこまで進んでいなく、井波でも、清都町長さんの時代に、まず子供たちのむし歯予防にフッ素のうがいをするところから始まりました。そして、入会してから、RCの皆さんに力をいただきながら、いい歯のキャンペーン、良い歯のキャンペーンを社会奉仕活動の中でやらせていただき、他の地域に広がる様、活動をしてきました。いまは、水道水フッロリデーションが地域に広がる様、RCに入って皆さんと手を携え合って行ってきました。いろいろな職業を持って社会で生かされていますので、職業を通していろいろと役立つことがあると思います。RCに入って更にその力が生かされます。例えば、地区大会で同業者に会って「よおっ」と声を掛けあうこともあります。お互いに共通理解を得られる仲間がいれば非常にうれしいことであり、生き甲斐になっています。是非そういうことをお考えになってよかったですら仲間になっていただくことを希望しています。

(坂井会長から質問) 2002-2003年度にガバナーをされて、一番楽しかったこと、一番苦しかったことを教えてください。また、ガバナー研修でアメリカに行かれた時、英語はどうでしたでしょうか。

(津田パストガバナーからの回答) ガバナーの研修で初めて外国に行きました。それが切っ掛けで毎年、外国に行くようになりました。それが良かった点です。大変だったのは、ガバナー準備期間である1~2年間前、丁度、病院建設と重なりましたので色々大変でした。1週間程入院も

しました。英語は喋れなくても大丈夫です。心臓で会話できます。



・閉会挨拶(河合耕一実行委員) : 津田先生お忙しいところありがとうございました。ロータリーの起源をお話いただき、現況も話していただきました。4つのテストを私どもに分かりやすい言葉で説明をいただきました。現在ロータリアンとして名乗っているメンバーもロータリーとは何ぞや、ということ絶えず自問自答しています。皆さんと討論もします。いろんな意見がでまして何となく分かっているようでもあり、十分に理解できない面もあります。理屈では分かっているもなかなかできない。実行に移すことができないというのが現状ですが、ある程度のメンバーがいらっしゃいますと自分の目標をもって一生懸命行動されている方がいらっしゃいます。そうした方と接してその人の話を聞くことで私たちが励まされます。自分に刺激を頂いています。これが仲間をもつということの意義かなと思っています。いろんな所でいろんな話を聞くということは、非常に自分自身の肥しになります。ゲストの皆さんもこのようなことを聞いていただければと思っています。仲間が増えれば大変楽しい、一人でも多くの仲間を持ちたいというのは私どもの希望であります。逆に現メンバーが一生懸命やっているのかなと自問自答もしています。口では職業理論を唱えながらも自分では実行しているのだろうか時々思います。クラブ自身が高い目標をもって活性化していかないと入会された方も早めに退会されることにもつながりますので、現メンバーがしっかりと自分に鞭打って活動していく機会になれば幸いです。津田先生から「原点を思い出せよ」ということを本日教わりましたので、是非その言葉を思い出して今後活動していけたらと思います。皆様ご苦勞様でした。

・閉会点鐘

(第二部) 会場：2F「越中」 司会：山本英介会員

- ・開会挨拶 坂井会長
- ・入会式 新入会員：齋藤美華子君



新入会員紹介 齋藤彰会員



ロータリーバッジ授与 (坂井会長から、津田パストガバナーへ、そして、齋藤美華子会員へ)



新入会員挨拶

- ・乾杯 津田パストガバナー・・・開宴



- ・閉会挨拶 小西勝会員